



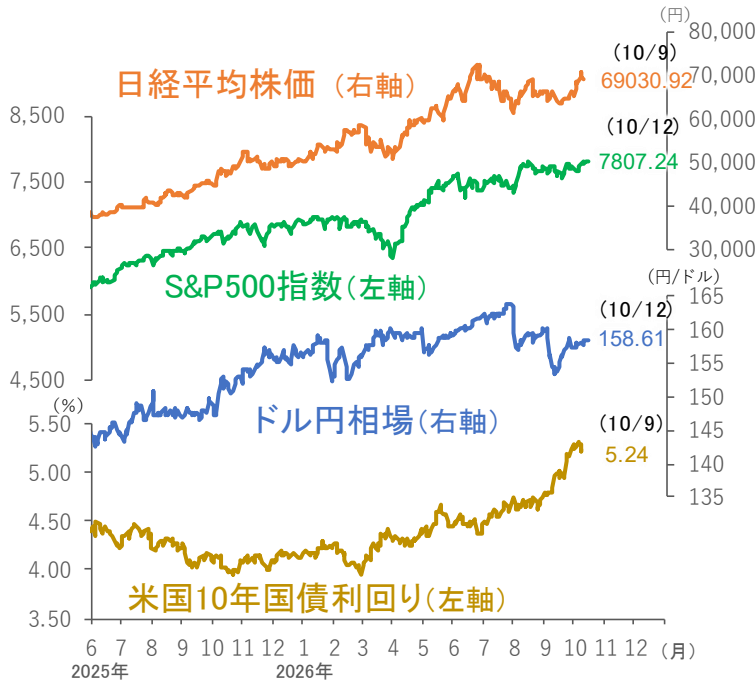
マーケット・レポート

Weekly Guide 2026.10.13

りそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご視聴いただけます！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、米国の長期金利上昇が一服したことから株式市場では買い安心感が広がり、米S&P500指数は8月半ば以来となる最高値を更新、日経平均株価は一時約3か月ぶりに7万円の大台を回復しました。週間騰落率では、S&P500指数は+1.2%、ナスダック総合指数は+0.6%、独DAX指数▲0.6%、日経平均株価は+1.1%と4週続伸で終わりました。10年国債利回りは、米国が前週末比▲3bpの5.24%、ドイツは+2bpの3.48%、日本は同▲8bpの3.02%で引きました。ドル円相場は、157円半ば～158円半ばの狭いレンジで、もみ合いが続きました。

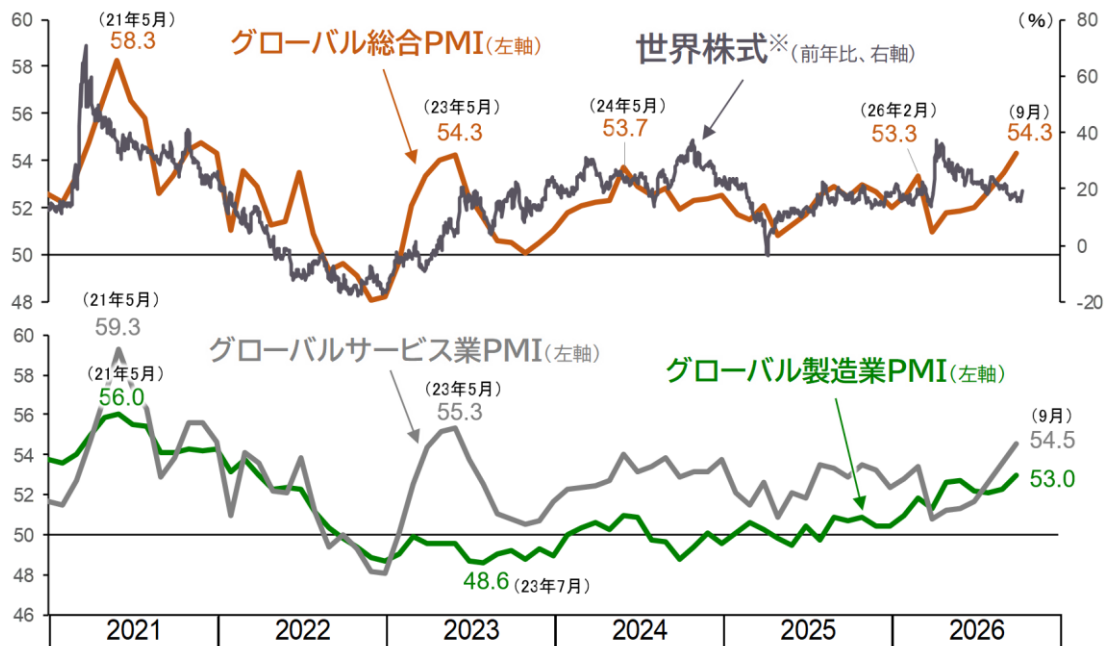
今週は、米インフレ指標に注目が集まります。市場では10月FOMCは政策変更なしとの見方が大勢ですが、今週発表の9月CPIが上振れた場合、10月利上げ観測が再燃する可能性があり注意が必要です。今週は半導体製造大手のASML (蘭、14日) とTSMC (台湾、15日) の決算発表があり、受注ガイダンスと世界の半導体関連株の反応が注目されます。

当面の注目イベント

- ◆ 日・9月企業物価指数 (13日)
- ★ 米・9月NFIB中小企業楽観指数 (13日)
- ◆ 米・9月コアCPI (14日)
- ◆ 米・9月小売売上高 (15日)
- ◆ 米・9月PPI (15日)
- ◆ 米・10月フィラデルフィア連銀景況指数 (15日)

★：りそな景気先行指数関連指標

9月のグローバル総合PMIは54.3に上昇し、2023年5月以来の高水準となりました。製造業PMIとサービス業PMIが揃って改善を続けており、世界経済の成長の裾野が広がっていることが示唆されています



※世界株式：MSCI-World 指数 (現地通貨建て、配当込み)

【出所】Haver Analytics、ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。

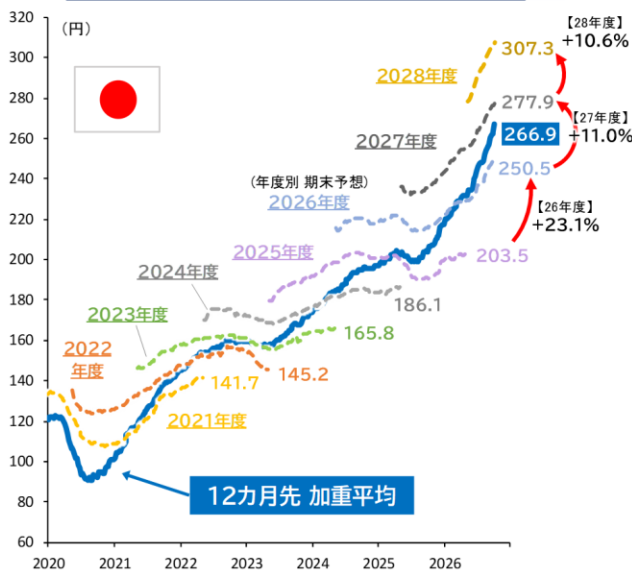


りそなアセットマネジメント

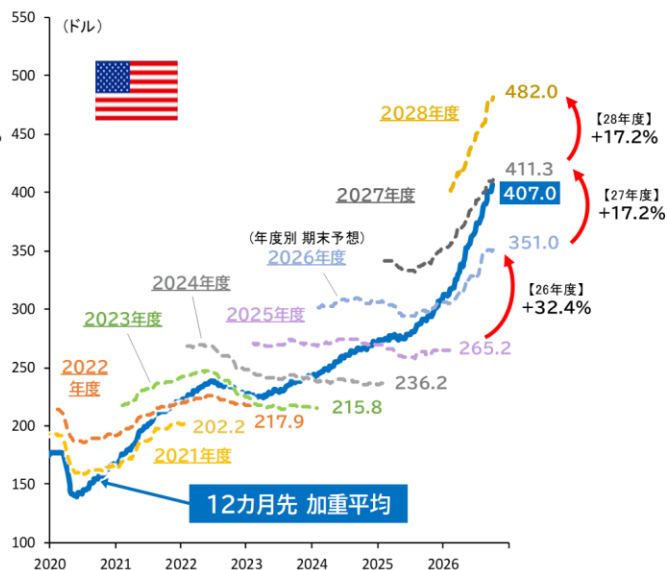
RESONA

TOPIX(東証株価指数)とS&P500指数の一株当たり利益(EPS)はいずれも2028年にかけて連続2桁増益が予想されています。この先、両指数はこの収益の伸びを織り込みながらレンジを切り上げる展開が見込まれます

TOPIX EPS予想 (市場コンセンサス)



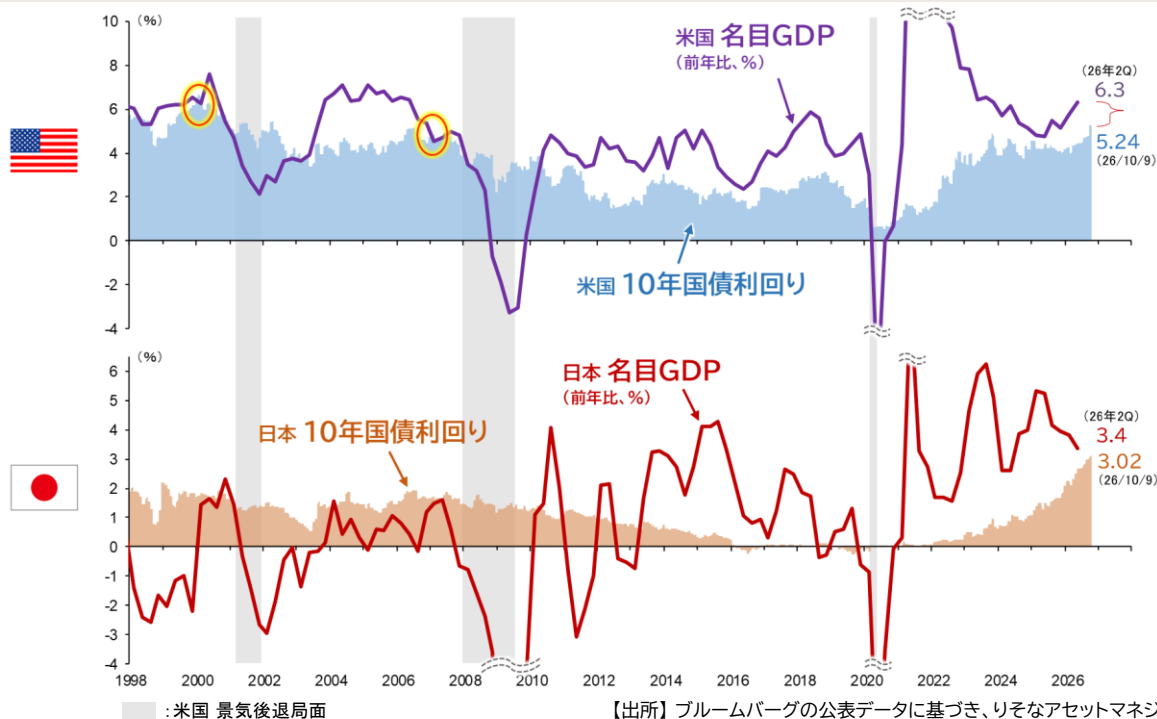
S&P500 EPS予想 (市場コンセンサス)



※2026年10月6日時点。LSEGの公表データに基づき作成。

【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

足元で日・米の10年国債利回りは上昇したもの(先週末時点:米5.24%、日3.02%)、いずれも名目GDP成長率(2026年4-6月期時点:米6.3%、日3.4%)を下回っており、持続的な経済成長を支える緩和的水準を維持しています



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

今回は 2026年10月19日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認くださいのうえご自身でご判断ください。